

# 社長通信

## ドバイ視察

今回は、初 中東訪問。ドバイと、隣にあるシャルジャを訪問 視察してきました。

どんな国?? ドバイは、最先端施設や超高層ビル群の周囲一体が砂漠地帯に囲まれているユニークな場所。石油依存型の経済から脱却すべく、金融・流通・観光の一大拠点として開発が進んだ結果、今では世界屈指の観光都市へと成長している。真っ青な海を上空から見下ろせば、そこには人工のパーム(ヤシの木)型の島の全貌がお目見え。人工島といっても、その面積はサッカー競技場で800面分以上になるほどの巨大なスケールだ。この島の埋め立てにより、ドバイの海岸線の長さは2倍になったようで、

「宇宙から見える唯一の人工島」とも言われているのだとか!

またドバイは所得税も住民税も無いし、法人税でさえも決められたエリアであればゼロなのだそう。

日本からドバイまで飛行機で約12時間 遠いですね。寝ても寝ても着かず映画を数本見ながらやっと到着。時差が5時間もありフラフラします。何だか夢の中に居るような眠りような感じです。 食事の時間も変わりおかしな雰囲気。1日掛けて時差修正できました。

初日は、我々で作ったNPO法人 RUMアライアンスの代表の近藤会長のパーツオークション会場へ行ってきました。1点1点きちんと検査し、規格通りのハイクオリティ-なパーツが綺麗に並べてあり、それに細かい仕様が書かれています。ハンディ-バ-コード読み取り機で、全ての仕様 走行 状態がわかる仕組みです。





それをバイヤー達が世界から集まり オクシオン形式でパーツ購入するという凄い仕組みです。輸出パーツも、間もなく B to B から B to C の時代に変化する時代が来ようとしています。

続々と集まるお客様。日本の工業力 技術は凄いですね。日本に居ると当たり前。しかし性能 信頼 技術は世界一です。日本が誇るべき

物なんですね。何十万キロ走った車が、船エンジンに化けたり 他の車に積まれて さらに何十万キロも活用されます。日本だと 10 万キロ越えると廃車なんて言われますが、まだまだ走れて世界中で乗られるんですね 素晴らしい！！もっと自慢した方がいいです 日本人は！！

食事は、砂漠で B B Q。1 時間以上砂漠の道を走り（これが凄い 車ひっくり返るんじゃないかと心配になる位のアップダウン 気持ち悪くなります。）砂漠の中にある施設で、タンドリ-チキンなど B B Q パーティ。基本お酒が売られて無い国なので、ここでやっとビールが飲めました。アルコールとギャンブルが無い国なので、お酒飲める場所はかなり貴重です。砂漠の砂に水のごとく 体にビールが染み渡る！！快感。肉も最高に美味しい。しかしまたもや帰り道は砂漠のアップダウンで気持ち悪！！を繰り返して 倒れるように就寝しました。疲れがどっと押し寄せて来ましたね



翌日は、船に乗り（車の中古エンジン搭載の木の船）、金の市場のゴールドスークとスパイスの市場のスパイススークへ行ってきました。ギネス記録のでかい金の指輪や金で出来た洋服？ 重いだろーと思いつつながら見学。両方プライス表示が無いので交渉して購入するんですが、怖くて買えない。スパイススーク歩いてると怪しい日本語、関西弁で現地の人に営業されます。大分スパイスは、ぼられた様な気がします。世界中のスパイスが集まってるので ウキウキしながら見学してきました。会社で作るカレーの為にチリを沢山買いました。

見た事も無いスパイスの数々、全部欲しい〜っ！と言う欲求と怪しい関西弁で売り込んでくる現地スタッフ。結構疲れて退散。ドバイまでは現地スタッフが日本語で下ネタバンバン。誰が教えたのか??? 不思議でしたね



食事は、ドバイ料理。辛くも無く 野菜カレーや肉のカレー美味しかったです。辛いもの好きな僕は少し物足りない感じでした。パンもお菓子も旨いですね。特にタンドリ（BBQ）は旨かった。

野菜も豊富で、結構 野菜料理が多いのにびっくり。砂漠のどこで取れるんだろう？

案外 ヘルシ-なドバイ料理の数々でした。



しかしドバイは世界一高いタワーを含め 個性的で高層のビルが数々あります。高すぎて、ポカーンと口開けて見てたら 砂が入って咳き込んでしまいました。田舎者です。砂漠を開発して海を埋め立てて別荘にして

凄いの一言。本当にお金持ちの国で世界中の一流ブランドの巨大なお店が沢山あります。ショッピングモールの中にはスキ-場や水族館・遊園地のような アトラクションがあるんですね。1日では1つのモールをととも見きれません。

モールには何と、“金の自動販売機”がありました。びっくりポンや〜

誰が買うんだろう？



その後は サーフゾーンへ。ここは工業団地のような作りで空港の側に

ありますが、法人税 消費税が無いんですね。 夢みたいです。最短でなんと法人設立から事務所や工

場の鍵が渡されるまで、2時間と迅速です。これがドバイの原動力と言うか ビジネスのパワーなんで

しょうね。日本なら数ヶ月掛かるのに。しかも バックアップ体制が凄いです。このスピーディーさ

は我々も見習う必要があります。

今回 初ドバイでしたが、日本のビジネスマンも沢山居ました。活躍する姿にはとても励まされました。

これから日本人もどんどん世界に出て頑張っ欲しいと心から思います。

その後 イスラム教の寺院見学。本当のイスラムの人は 殺人して駄目。I Sは、本当のイスラムでは

無いと 地元の人達が話していました。I Sとイスラム教は別物と考えたほうが良さそうです。

とても清潔で、治安も良く 女性も美人？（目だけしか見れないので）が多い 中東のドバイ シャル

ジャ。

砂漠の中の奇跡。やはり人は、噂やマスコミの情報だけでなく、実際に見て

歩いて 触れて 食べる事が大切です。ある週刊誌では、ドバイの開発は終

わったとか不況でボロボロと書いてありましたが、実際見た限りでは どん



どん今でも発展しています。イスラム教に対しても イメージが全然違いました。世界平和を望む宗教

なのに 一部の人が勝手に都合の良いように捻じ曲げているんですね 悲しい限りです。

日本の若い人は、どんどん世界を見て見聞を広げて欲しいと思います。

漫画に出たワンピースの海賊船のような木の船に車や物資積んでアフリカに持って行く姿には、え〜つとびっくりしましたが、世界の常識は日本の常識は違う。自分の枠にはめて物事を判断したら駄目なんですね。他国の文化・食事・宗教など尊重しながら理解する気持ちが大切です。



何時も思うのが、今回もドバイの人に「日本人好き」と言われましたが、先人の人達の技術そして歩みがあって日本人は尊敬され、好意持ってくれる国が多いと言う事です。我々もこれからの日本の子供たちの為に 世界で尊敬されるような行動・ビジネスをしっかりとしたいと思います。

P S 日本に帰ってからの立ち食いうどん 涙出る位 旨かった

何時も、気まぐれ通信（変なレポート）を読んでくださり感謝します。

ありがとうございました！！

